



## メッセージ 01

薬剤部 薬剤師

三木 芳晃 (入職年数6年)

担当業務

服薬指導業務  
ICT業務等



チーム医療の一員として、  
安全で有効な薬物治療に貢献します。

## わたしたちの職場

病院薬剤師の臨床業務の柱は「調剤」「薬品管理」「ドラッグインフォメーション」です。医師から処方されたお薬過誤の無いよう正確に、安全に患者さんのもとへ届くよう調剤業務を行っています。抗がん剤は、治療計画の確認・抗がん剤の調製・抗がん剤治療の説明や副作用の確認・医師への処方提案など患者さんが安心して治療できるよう深く関わっています。薬の中にはちょっとした量の違いで、効果が出るもの、副作用が出るものがあります。より適正な薬物治療を実現するため、血液中の薬物濃度を測定する事で一人ひとりに合った最適な投与方法を医師へ提案しています。他にも、薬の情報をいち早く医師をはじめとする医療スタッフへ周知する事も重要な役割です。



近年では、医師・看護師と共に病棟へ出向き、患者さんの治療にチームで取り組む医療スタッフの一員としての役割が必要とされています。患者さんの病態を把握し、服薬説明や服薬支援、持参された薬の効果や副作用をモニタリングし、薬歴管理をする事で処方内容の検討に役立てます。私たちは薬の専門家として、患者さんに安全で確実なお薬の投与が出来るよう支援しています。

## 仕事のやりがい

現在 ICT (感染対策チーム) の一員として日々活動しています。医師や他職種との連携も増える中、抗菌薬の選択や投与設計に関して患者さんに介入し感染症を少しでも制御出来た時はやりがいを感じます。最近では、病棟担当薬剤師からの感染症治療に関する相談も増えてきています。毎日勉強の日々ですが、チーム医療の一員として今後も院内の感染制御に貢献できるよう努力したいと思います。

## 当院に就職したきっかけ

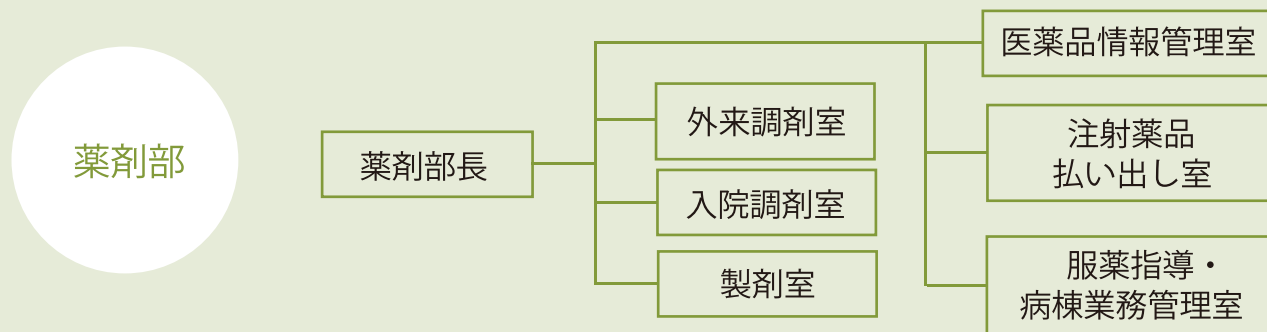
急性期病院で経験を積みたかったというのが一番の理由です。また、院内処方が多い病院であり薬剤師の基本である調剤に数多く携われます。その中でより多くの知識を吸収し、薬剤師としての専門性をより一層高めたいと思いました。

## 1日のスケジュール

- 8:00
  - ・ PET 業務 (品質管理)
- 10:00
  - ・ ICT 業務
  - ・ TDM 対象薬剤投与患者のカルテ確認
  - ・ 指定抗菌薬投与患者管理
  - ・ ICT ラウンド資料作成
- 11:30
  - 昼休み
- 12:30
  - ・ 調剤業務
- 14:00
  - ・ ICT 回診
- 15:00
  - ・ 服薬指導業務
- 16:30
  - ・ 医療用麻薬定数管理
  - ・ 定数配置薬管理
- 17:30
  - 業務終了



組織図



資格取得者数 (※2015年6月現在)

認定実務実習指導薬剤師	3人	認定実務実習薬剤師	8人	糖尿病療養指導士	15人
がん薬物療法認定薬剤師	2人	緩和薬物療法認定薬剤師	2人	感染制御認定薬剤師	1人
抗菌化学療法認定薬剤師	1人	NST 専門指導士	2人	漢方薬・生薬認定薬剤師	2人
小児薬物療法認定薬剤師	1人				

Q&A (薬剤師についての質問)

- Q** 教育体制について教えてください。

**A** 教育カリキュラムチームのメンバーで検討を重ね、チェックリストをもとにして、マンツーマンで教育しています。そのチェックリストによってどんなことを学ぶべきかもわかるようになっています。
- Q** 服薬指導業務や病棟業務について教えてください。

**A** 1年目の前半は、薬剤師業務の基本である調剤業務や注射業務をマスターしてプロの薬剤師としてしっかりと基礎固めしてもらいます。そして、1年目の後半からは、服薬指導や病棟業務、混注業務をマスターしてもらいます。それぞれの業務には、ベテランスタッフがマンツーマンで指導にあたります。
- Q** 認定資格を取得する上での注意点を教えてください。

**A** まずは、プロの薬剤師として恥ずかしくない実力を持ったジェネラリストを目指し、しっかりと足元を固めて下さい。その間、本当にやりたい専門を見極め、それからスペシャリストを目指して下さい。
- Q** 求める人材像を教えてください。

**A** 病める患者さんにしっかりと寄り添い、自分は何ができるのか、何をすべきかを考え、常に患者さんのために尽くすことができる薬剤師を目指し、患者さんから信頼される薬剤師になれるように頑張ってください。それが薬剤師としての大きな喜びや生き甲斐につながります。また、チーム医療を実践していく上で、コミュニケーション力が大切です。そのためには、常にプロの薬剤師としての知識やスキルの向上に努めることによって信頼される薬剤師になるとともに、人間性を磨き感性豊かな人物となっていくいろいろな人との絆を深めて下さい。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会  
大阪府済生会中津病院

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田二丁目10番39号  
Tel: (06)6372-0333 Fax: (06)6372-0339

診療科や施設など詳細・最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.nakatsu.saiseikai.or.jp>

